

# 全日本少年剣道錬成大会



〈平成 30 年度〉

## 第 57 回 全国選抜少年剣道合宿錬成会

期 間 平成 30 年 4 月 1 日(日) ～ 4 月 4 日(水)  
(3 泊 4 日)

場 所 〒191-0053 東京都日野市豊田4丁目 46 番 61 号  
全日本少年剣道錬成会館

TEL 042-581-6833

FAX 042-581-6859



主 催 一般財団法人 全日本剣道道場連盟

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

(本事業は競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。)

## 全道連の活動(説明)

「少年合宿」は「全道連の活動」の数多い行事の中でも、重要な行事の一つとして行われているものです。

- ① 平成30年の第57回全国選抜少年剣道合宿錬成会は、4月1日(日)から4日間実施します。今皆さんが参加している、この『合宿』です。
- ② 各都道府県道場少年剣道大会(全国大会予選)は、皆さんも知っている行事です。
- ③ 毎年夏に、日本武道館で全国道場少年剣道大会が開催されています。本年は7月24日・25日に決定しました。
- ④ 剣道少年団研修会(体験発表・書道展)は、都道府県毎に9月～12月にかけて実施。
- ⑤ 全国道場少年剣道選手権大会(小・中学生 男・女の部)・全国道場対抗剣道大会  
愛媛(第36回 9月23日)
- ⑥ 剣道少年団表彰・団員表彰 (平成31年1月)
- ⑦ 日本剣道少年団研修会(体験発表・書道展)全国大会  
平成31年2月末東京開催予定

以上は、少年の皆さんに直接関係のある行事ですが、その他にも指導者を対象として剣道指導者研修会(年2回)・居合道講習会などが行われています。また、全国の道場で稽古をしている、大人の女性にも目を向け、『レディース剣道大会』の開催や『女子剣道稽古会』なども計画しています。

これらの行事は、ほとんどが日本財団からの『助成金』によって賄われています。

## 合宿の目的

全日本剣道道場連盟は、この合宿錬成で、剣士の皆さんに剣道への興味を更に高めてもらい、技能の向上は勿論、学習意欲にも反映して、剣道も勉強もよく出来る青少年になってもらいたい、という期待からこの合宿を実施しています。

全国より選抜された皆さんを、剣道指導に精通した講師が懇切丁寧に指導しますので、皆さんも真剣に学ぶとともに節度のある合宿生活を送り、新しい友情の輪を築くことに努めて下さい。

### 講師指導担当

月日	時間	担当講師	内容	概要
4月1日(日)	午後 2:30~2:50	全講師	開講式	事務局 豊村専務理事
	2:50~4:30	相模講師	①着装、礼法、構え、間合い、足さばき ②基本打突(切り返しなど) ③相互練習	
4月2日(月)	午前 9:00~9:50	小澤講師	講話	
	10:00~12:00	豊村講師	木刀による剣道基本技稽古法	
	午後 2:00~4:30	相模講師	①基本打突(前日の復習) ②打ち込み、掛り稽古	
4月3日(火)	午前 9:00~12:00	祝講師	①しかけ技、応じ技 ②相互練習	
	午後 2:00~4:30	全講師	試合練習と総復習	
4月4日(水)	午前 6:30~7:30	全講師	指導、相互練習	
	7:30~7:50	全講師	閉講式	修了証授与

### 生活・時間割表

時間	4月1日(日)	4月2日(月)	4月3日(火)	4月4日(水)
AM 6:30		6:30	6:30	6:30 起床・点呼
7:00		7:00 起床・点呼・体操・掃除	7:00 起床・点呼・体操・掃除	7:00 研修 6:30 ~ 7:30
30		30	30	30 閉講式
8:00		8:00 朝食	8:00 朝食	8:00
30		30 自由時間	30 自由時間	30
9:00		9:00 剣道講話 9:00 ~ 9:50	9:00	9:00 朝食
30		30 木刀による 剣道基本技稽古法 10:00 ~ 12:00	30 研修 9:00 ~ 12:00	30 後片付け 掃除
10:00		10:00	10:00	10:00
30		30	30	30 解散
11:00		11:00	11:00	11:00
30		30	30	30
PM 12:00		12:00	12:00	12:00
30		30 昼食	30 昼食	30
1:00		1:00	1:00	1:00
30		30 休養	30 休養	30
2:00	2:00 集合・室割 オリエンテーション	2:00	2:00	2:00
30	2:30 開講式	30	30 研修 2:00 ~ 4:30	30 研修 2:00 ~ 4:30
3:00	3:00 研修 2:50 ~ 4:30	3:00	3:00	3:00
30	30	30	30	30
4:00	4:00	4:00	4:00	4:00
30	30	30	30	30
5:00	5:00	5:00	5:00	5:00
30	30 入浴 (部屋別)	30 入浴 (部屋別)	30 入浴 (部屋別)	30
6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
30	30	30	30	30
7:00	7:00 夕食 6:40 ~ 7:20	7:00 夕食 6:40 ~ 7:20	7:00 夕食 6:40 ~ 7:20	7:00
30	30	30	30	30
8:00	8:00 自由時間 (日記・体験文を書○)	8:00 自由時間 (日記・体験文を書○)	8:00 自由時間 (日記・体験文を書○)	8:00
30	30	30	30	30
9:00	9:00 掃除	9:00 掃除	9:00 掃除	9:00
30	30 点呼	30 点呼	30 点呼	30
10:00	10:00 消灯・就寝	10:00 消灯・就寝	10:00 消灯・就寝	10:00

## 合宿錬成の要点 (大切なことから)

### 第1章 合宿生活について

規律を守り、協力調和の心を持って、広く交流の輪を創る。

- イ. 時間の厳守 ロ. 挨拶・返事の励行 ハ. 部屋の整理・整頓
- ニ. 履物(トイレ・下足)の整理・整頓 ホ. 迅速な動作・行動

### 第2章 剣道の学び方

#### ① 剣道を学ぶ目的

正しい剣道の技術を身につけて、物事の考えを正しく、偏らずに判断出来る。

健全な心と、健康で活動出来る力をもった体を創るのが目的です。

『清く・正しく・逞しく』

#### ② 剣道を学ぶ心がけ

剣道を真剣に学び、稽古では技術の向上を考え、気力を養い、礼儀を大切に、  
真心で広く交流して、将来は人類の平和の為に貢献できる社会人になれるよう努める。

### 第3章 剣道の捉え方

#### ① 基本が第一

基本と言えは、技のことだけでなく、剣道具の着け方や礼儀も、基本動作と同じ「基本」と考えて、大切にすることです。

「自分は、基本などは知っている」と思うのは、大きな間違いであって上達すれば

「基本」を大切にしながら稽古することです。

#### ② 基本動作(正面打ち・切り返し)

基本動作で姿勢(無理のない姿勢・自然体)や構え・目付や足さばきを順序によって稽古してきたと思いますが、次の段階に進んでの「打ち方」の中で、正面打ち・切り返しは、上級者の剣道にも大切な修練課題なのです。又「切り返し」を見れば、その人の「技能の程度」が判るとまで言われている位に、大切なものです。

この合宿では、「正面打ち・切り返し」を徹底して修練し、自分の剣道を見直す機会にしよう。

### 第4章 上達への秘訣

#### ① 基本と人間づくり

稽古では基本を守り、反省しながら、反復練習することです。

基本稽古は、単調なので飽き易く、早く試合をしてみたいと思いがちです。それを「忍耐強く」

「辛抱強く」頑張って練習することが、上達への最善の秘訣です。

この「忍耐強く」「辛抱強く」稽古を重ねることが、君の将来に役立つ、『人間作りの土台』(基礎)になることも知っておこう。

#### ② 稽古の心得

イ. 稽古の前の準備運動は、自分の技能を最大限に発揮させてくれます。

ロ. 自分の健康状態は、自身が一番よく知っている。無理はしない。

特に合宿中は、食事や環境による体調の変化があるものです。異常があれば、直ちに講師へ申し出て下さい。

日頃から、食事や休養にも、留意する習慣が大切でしょう。

ハ. 剣道は、「勝つ」ことだけが目的ではない事を自覚して稽古を続けよう。

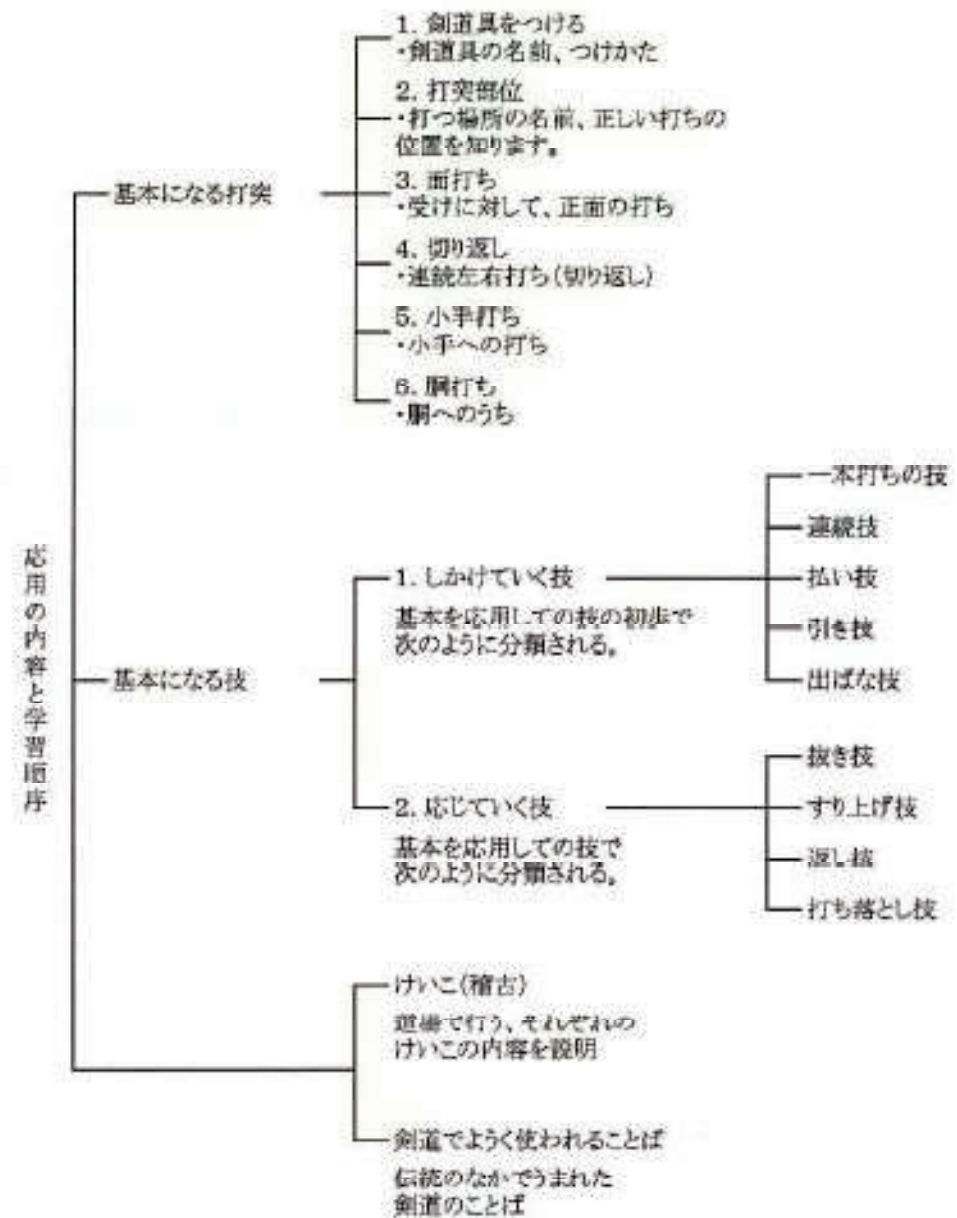
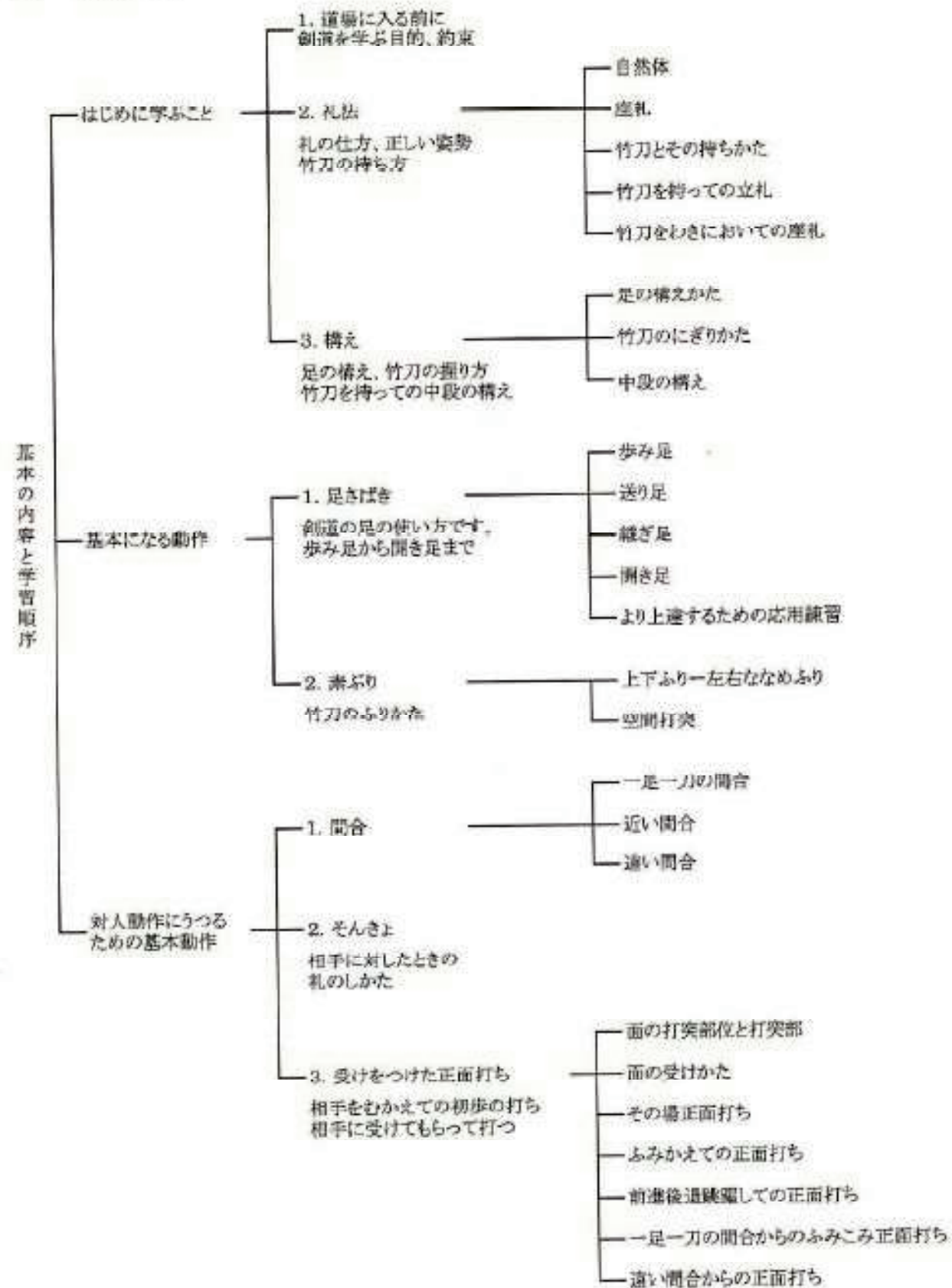
稽古を続ける中で、剣道で教えられる事が、沢山出てきます。それが剣道の「特性」と言うものです。この合宿で「特性」を一つでも、多く持って帰れるように努力して下さい。

ニ. 安全を心掛けるのは、剣道をする人の常識です。自分は勿論のこと相手にも、怪我などで迷惑をかける気づかいを忘れないことです。

ホ. 剣道で大切なのは、**責任感**です。自分の行動には責任をもって下さい。

(剣道少年団綱領)

## 第5章 学習内容



## 木刀による剣道基本技稽古法

### 構成

基本1	一本打ちの技	「正面」「小手」「胴(右)」「突き」
基本2	連続技(二・三段の技)	「小手→面」
基本3	払い技	「払い面(表)」
基本4	引き技(鍔ぜり合い)	「引き胴(右胴)」
基本5	抜き技	「面抜き胴(右胴)」
基本6	すり上げ技	「小手すり上げ面(裏)」
基本7	出ばな技	「出ばな小手」
基本8	返し技	「面返し胴(右胴)」
基本9	打ち落とし技	「胴(右胴)打ち落とし面」

分類	要点	例
しかけていく技	1. 一本打ちの技	攻めに対する、相手の剣先動きに応じて打つ一本打ち。 例 剣先が動く…面 剣先が上がる…小手 手元が上がる…胴 剣先が下がる…突き(基本技稽古法)
	2. 連続技	相手の注意を惹きつけて、隙の出来た所を打つ。 例 小手→面・小手→胴・面→面・面→小手・面→胴・ 小手→面→面・小手→面→胴
	3. 払い技	相手の構えを崩して攻めて打つ。 例 払い面(表・裏) 払い落とし面 払い胴
	4. 引き技	引いて相手の体が伸びた所を打つ。 例 引き面 引き胴
	5. 出ばな技	相手が行動を起こした、その隙を打つ。 例 出ばな面 出ばな小手
(かつぎ技・片手技・上段技・捲き技は、相手対象としない)		
応じていく技	1. 抜き技	相手の打突を「竹刀さばき」や「体さばき」で空を打たせて、その隙を打つ。 例 面抜き面 面抜き小手 面抜き胴(左・右) 小手抜き正面 小手抜き右面 小手抜き小手
	2. すり上げ技	相手の竹刀を「すり上げ」直ちに打つ。 例 面すりあげ面(表・裏) 面すりあげ小手(裏) 面すりあげ胴(右・左) 小手すりあげ面 小手すりあげ小手
	3. 返し技	相手の竹刀に応じた反対側に竹刀を返して打つ。 例 面返し面(左・右) 面返し胴(左・右) 面返し小手 小手返し面 小手返し小手 剣返し面
	4. 打ち落とし技	相手の打突を「体さばき」とともに打ち落とし、直ちに打つ。 例 面打ち落とし面 胴打ち落とし面 小手打ち落とし面 小手打ち落とし小手 胴打ち落とし胴(右)

第53回

# 全国道場少年剣道大会

ZENKOKU DOJO  
SYONENKENDO TAikai



**とき** 平成30年7月24日 **小学生の部**  
7月25日 **中学生の部**

**場所** 日本武道館

**主催** 一般財団法人 全日本剣道道場連盟

特別後援：毎日新聞社

後援：スポーツ庁／内閣府／総務省  
／日本財団／日本武道館／全日本剣道連盟

協賛：ライオン株式会社  
／羽田タートルサービス株式会社



## 大会式次第

7月24日

1	選手・役員集合	8:50
2	開会	9:00
3	国歌斉唱	
4	優勝旗・優勝杯返還	
5	大会会長挨拶	
6	来賓祝辞	
7	審判長注意	
8	選手宣誓	
9	体験・実践発表	
10	小学生団体戦(16試合場)	9:55~18:00
11	小学生表彰	18:15
12	閉会	18:30

7月25日

1	選手・役員集合	8:50
2	開会	9:00
3	国歌斉唱	
4	優勝旗・優勝杯返還	
5	大会会長挨拶	
6	来賓祝辞	
7	審判長注意	
8	選手宣誓	
9	体験・実践発表	
10	中学生団体戦(16試合場)	9:50~18:00
11	中学生表彰	18:15
12	閉会	18:30

表紙写真は株式会社フォトクリエイティブ様よりご提供頂きました。

## 第53回 全国道場少年剣道大会 「参加上の注意」

※出場者は必ず監督が引率し、事故防止並びに大会中選手の健康管理など、全ての責任を持って下さい。

### ※日本武道館における「入場」及び「席割り」等について

#### 入場について

北の丸公園・日本武道館からの指導により、前日からの敷地内の立ち入りを禁止致します。  
午前6時20分より係員が開場する為の誘導を始めます。(それ以前の集合は禁止とします。)  
別紙：「武道館来館時の注意」及び「入場口・指定席MAP」の入場経路を参照の上、係員の指示に従い、決められた入場口より、混乱や事故の無いよう入場して下さい。

#### 入場口

「指定席」として割り振った席によって館内への入場口を指定致します。【出場決定通知書】に記載された入場口よりご入場下さい。又、入場が落ち着く一定の時間まで、おやみな階の移動はご遠慮下さい。

#### 指定席

年々加熱している「席取り」問題緩和の為、今年度より、1階～2階席の観客席は1チームにつき一律10席を指定席として厳正なるコンピュータ抽選により割り振っております。【出場決定通知書】に記載された指定席をご利用下さい。

#### 自由席

2階席最上部の約5000席。  
7月24日(火)小学団体戦の日は 2階 L 列目より上部。  
7月25日(水)中学団体戦の日は 2階 G 列目より上部は、自由席として利用できますが、参加団体数に見合った座席数がありませんので、1チームにつき10席程度としてご利用下さい。剣道具等の荷物は座席の下に置くなど、必要数以上の占有はおやめ頂き、互譲の精神で皆さんが気持ち良く観戦できるよう、ご協力下さい。

### 1. アリーナ（大道場）階について

- ① 試合当日の選手、監督以外はアリーナ（大道場）階に入れませんので厳守下さい。  
アリーナ階の廊下でのシート類による場所取り、待機も禁止と致します。
- ② 監督は各日指定の監督証を必ず着用して下さい。
- ③ 監督は1団体に1人の登録です。
- ④ 試合場間の通路(特に5試合場～12試合場の中央通路)は、試合が近いチームのみ出入りをお願いします。
- ⑤ 監督、選手は移動通路の確保にご協力下さるとともに、以後の試合がない場合、すみやかに観覧席にてご観戦下さい。
- ⑥ 選手待機場所での竹刀、面の取り扱いが問題になっております。「竹刀スタンド」等を用いて、会場内の整頓にご協力をお願いします。

### 2. 団旗・旗かけについて

団旗・旗等を館内に掛ける場合、指定席を割り振った関係上、自チームの指定席のある階でお願いします。旗掛けによる入場待ちは、出来ません。又、館内の空調口・案内板・非常口表示・方向表示場所・防犯カメラ等にかからないようご注意ください。妨げになっている場合、撤去、移動を願います。

なお、2階南側にはすべて掛ける事はできません。大きな旗・団旗を掲げると試合進行及び観戦の妨げになる場合がありますので、配慮頂くとともに妨げになる場合は係員の指示で縮小、移動等して頂きます。

### 3. 準備等について

- ① 出場する試合の確認は、【出場決定通知書】のエントリー部門・試合日・試合場をよくご確認ください。
- ② 試合者の目印(紅白たすき)は、各自ご持参頂き着脱も行って下さい。  
プログラムによるチーム番号の若い方を赤とします。
- ③ 試合者の名札は所属団体部分がチーム名(全道連登録名)と合致した、姓入りの明確に読み取れるものを使用して下さい。  
(全道連に「〇〇中学」で登録していない場合は「〇〇中」の名札は使用できません)
- ④ 少年剣士会員章(ワッペン)は、試合参加証であり、また、傷害保険証です。  
選手は、ワッペンを剣道着右上腕部に、必ずつけて参加して下さい。
- ⑤ 選手の館内での履物について、アリーナ(大道場)以外での館内外の裸足歩行は禁止されております。  
スリッパ、運動靴等で移動をお願いします。また、紛失・盗難予防に、名入れ等、充分管理下さい。
- ⑥ 本大会ではオーダー表を使用致しません。
- ⑦ 入場行進は行いません。少年団旗は不要です。
- ⑧ 大会前日の会場内の下見、旗掛け、席取りはできません。また、両日共、物を置いておく事ができません。  
両日共、完全撤去という形をとります。残された物は撤収し、遺失物として本部で預かります。
- ⑨ 開会式前、アリーナ(大道場)での稽古は当日の選手以外はできません。  
稽古をする場合は監督が責任を持って安全な環境を常に留意して指導して下さい。  
この場合の事故について、本部は一切責任を負いません。
- ⑩ 各試合場、第1試合及び第2試合の各チームは、開会式終了後迅速に試合ができるよう、ご準備下さい。  
試合順番の確認は当日配布するプログラム受領の後、直ちにご確認下さい。  
試合の組み合わせは全道連WEBでも7/20以降掲載する予定です。
- ⑪ 日本武道館宛に前もって剣道具等の荷物を送り届ける事はできません。  
大会期間中、最寄先等に向けての宅配業者の窓口は設けてあります。(西口横)

### 4. SSPシール貼付竹刀について

- ① 選手は本大会においてSSPシール貼付の竹刀を使用して下さい。(チームに選手数分のSSP竹刀購入割引券を送付しました。)
- ② カーボン竹刀(樹脂製竹刀)は、今まで通り使用出来ます。
- ③ 試合前、竹刀の検品は行いませんが、該当竹刀以外の場合、館内の売店もしくはアリーナ(大道場)内に設けております「竹刀相談所」にて対応して下さい。(会場案内図参照)



## 5. 開会式について

- ① 両日共、午前9時より開会式を行います。
- ② 選手は午前8時40分までにアリーナ（大道場）に剣・重着用の上、ご集合下さい。（面、小手、竹刀は式典中、必要ありません）それ以降のアリーナ（大道場）への入場は、式典の関係上ご遠慮頂きます。同時刻までの集合にご協力下さい。  
選手は必ず参列し、式典中に他の場所での練習など行う事のないように準備して下さい。
- ③ 開会式で国歌を斉唱致します。参加選手に歌唱するよう、ご指導をお願い致します。

## 6. 試合について

### 団体戦／小学生の部（7月24日）・中学生の部（7月25日）

- ① 試合は各試合場、トーナメント方式に依り、全日本剣道連盟 剣道試合・審判規則及び細則並びに、本大会要項、申し合わせ事項に従って行います。
- ② 試合時間は小学生2分、中学生2分30秒、3本勝負で行い、勝敗の決しない時は引き分けとします。
- ③ 勝者数、総本数が同数の時は、任意選出による代表者戦によって勝敗を決します。
- ④ 代表者戦は1本勝負とし、時間は区切らず勝敗の決するまで行います。
- ⑤ 「上段の構え」、「突き技」については、（公財）日本中学校体育連盟剣道部の申し合わせ事項に準じ禁止します。  
但し隻腕の場合は、事前に大会本部に連絡して下さい。
- ⑥ 試合場は規則より狭く設営してありますが、「場外」の反則は規則通り適用します。
- ⑦ 竹刀の基準は全日本剣道連盟の規則に従います。但し小学生は111cm（3尺6寸）以内とします。  
監督は責任をもって選手の竹刀が、試合ごとに適格かつ安全な竹刀であることを確認して下さい。
- ⑧ 今大会での「ブラック面金付き面」は使用できません。
- ⑨ 関係者一同、対戦相手を取り違えないよう充分ご注意ください。
- ⑩ 当該チームの第1試合開始までに事故者、病欠者等が出た場合の欠員補充は認めず。  
試合開始前までに、必ず該当試合場の「選手変更届」用紙に記入頂き、審判主任又は試合場責任者の了承を得て下さい。  
但し、オーダーの入れ替えは認めません。尚、試合が開始されてから事故者等が出た場合は欠員のままで行います。
- ⑪ 各試合場の1回戦目までにおいて、数回呼び出しても現れないチームがある場合は、次の試合を進めます。3試合を待ち、それまでに現れない場合は不在チームの不戦負けとします。その間、対戦チームはその場に待機して下さい。
- ⑫ 各試合場の2回戦目以降は、数回呼び出しても現れない場合は不在チームの負けとします。試合進行にご注意下さい。
- ⑬ 交通機関等の事情により、上記の時間以上、試合場到着が遅れる場合は、大会委員長又は大会総務委員長により判断致します。
- ⑭ 進行状況により試合場を変更する場合があります。場内アナウンスにご注意下さい。

## 7. 表彰について

- ① 各試合場（全16試合場）において上位4チーム（3位）までを順次、本部席にて表彰します。  
準備が出来次第、アナウンスしますので、お集まり下さい。
- ② 決勝トーナメント以降、優勝ベスト8（敢闘賞）までを表彰します。

## 8. その他 武道館利用についてなど

- ① ロビー、廊下及び駐車場でのご古、素振りは、日本武道館の内規で禁止となっています。遵守下さい。
  - ② ロビー、廊下及びバルコニー等にシート類・ロープ等で陣を取ったり、そこで飲食をする事は禁止されています。
  - ③ 館外より持ち込んだ飲食物のゴミ類は、館内で捨てられません。お持ち帰り下さい。  
館内で購入した物のゴミは分別して指定の場所に捨てて下さい。
  - ④ 館内及び館外は全面喫煙禁止（一部指定喫煙場所を除く）です。指定場所以外での喫煙は一切できません。ご協力下さい。
  - ⑤ 館内の電気コンセントの使用はできません。また、館内の設備は大事に使用して下さい。
  - ⑥ 館内外（駐車場含む）の事故、盗難等に一切の責任を負いません。
  - ⑦ 日本武道館外（特に周辺）での事故が発生したことがあります。  
少年剣士が試合以外でも怪我をしないよう、また、子供たちだけで遊ばせないよう具々もご注意ください。
  - ⑧ 本部に届けられた遺失物については大会期間中、本部席で預かります。確認下さい。  
大会終了後は6ヶ月間、事務局で保管します。お問い合わせ下さい。その後は処分させていただきますのでご了承下さい。
- ※ 館内には大会関係者以外も出入りしていますので、盗難には十分ご注意ください。  
※ 主催者は大会中負傷疾病に対し応急手当をする他は一切の責任を負いません。試合者（選手）は少年剣士会員章（ワッペン）の傷害保険が適用されますので、万一、傷害が発生した場合、本部に届け出て下さい。

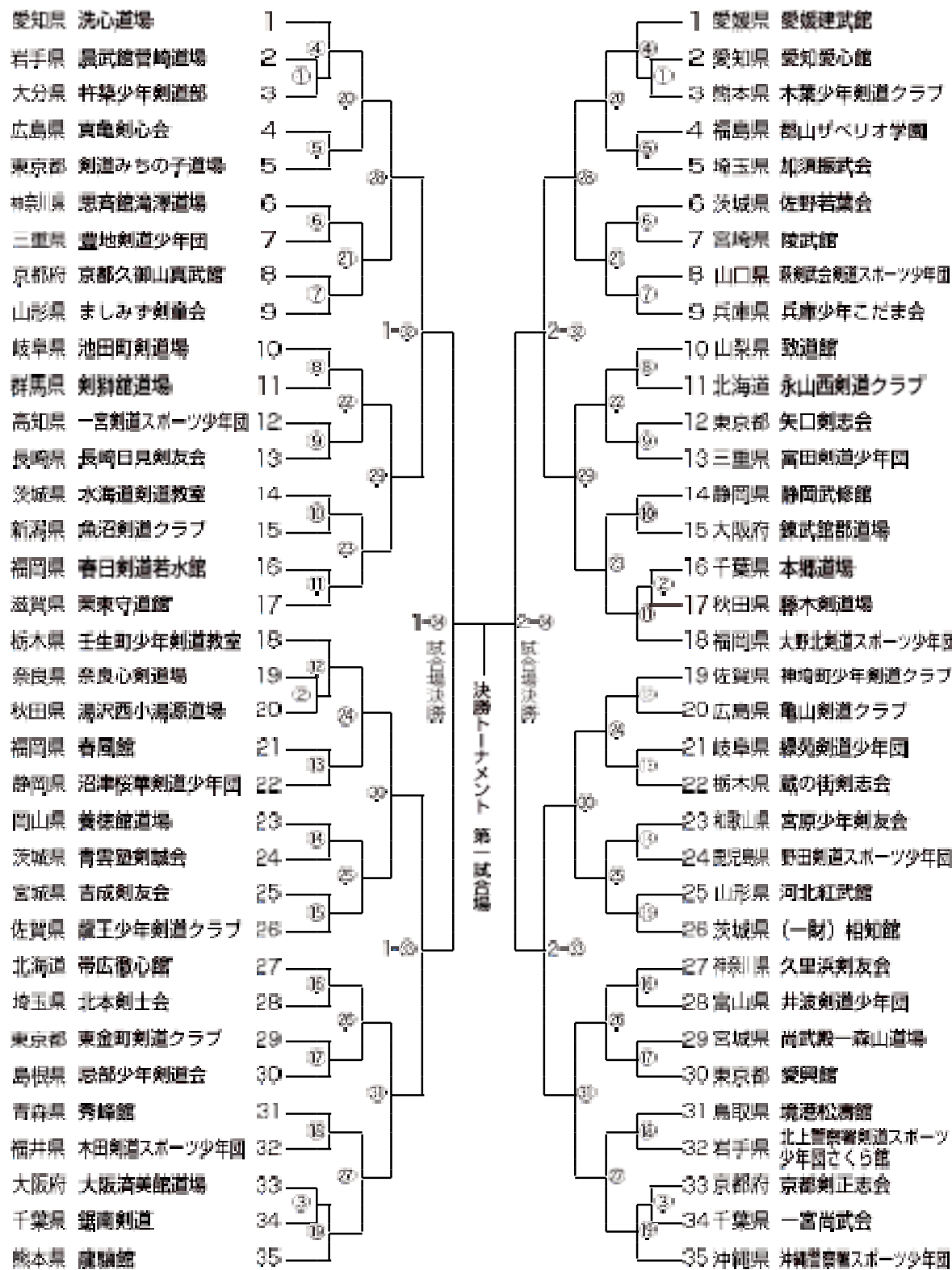
〈大会が盛会かつ円滑に事故なく終了するよう ご協力をお願い致します〉

一般財団法人 全日本剣道連盟 <http://www.zendoren.org>  
公益財団法人 日本武道館 <http://www.nipponbudokan.or.jp>

第1試合場

小学生の部

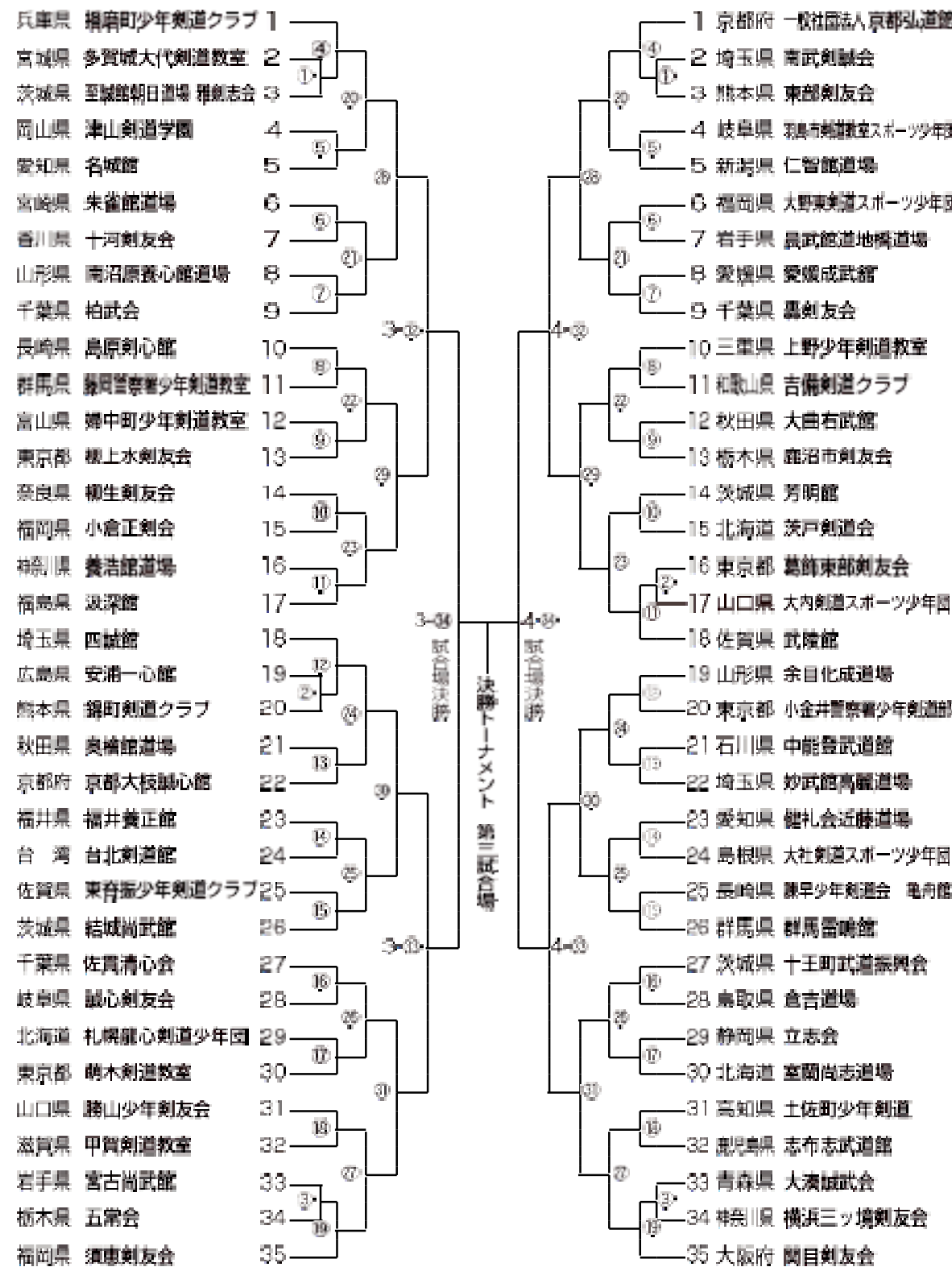
第2試合場



第3試合場

小学生の部

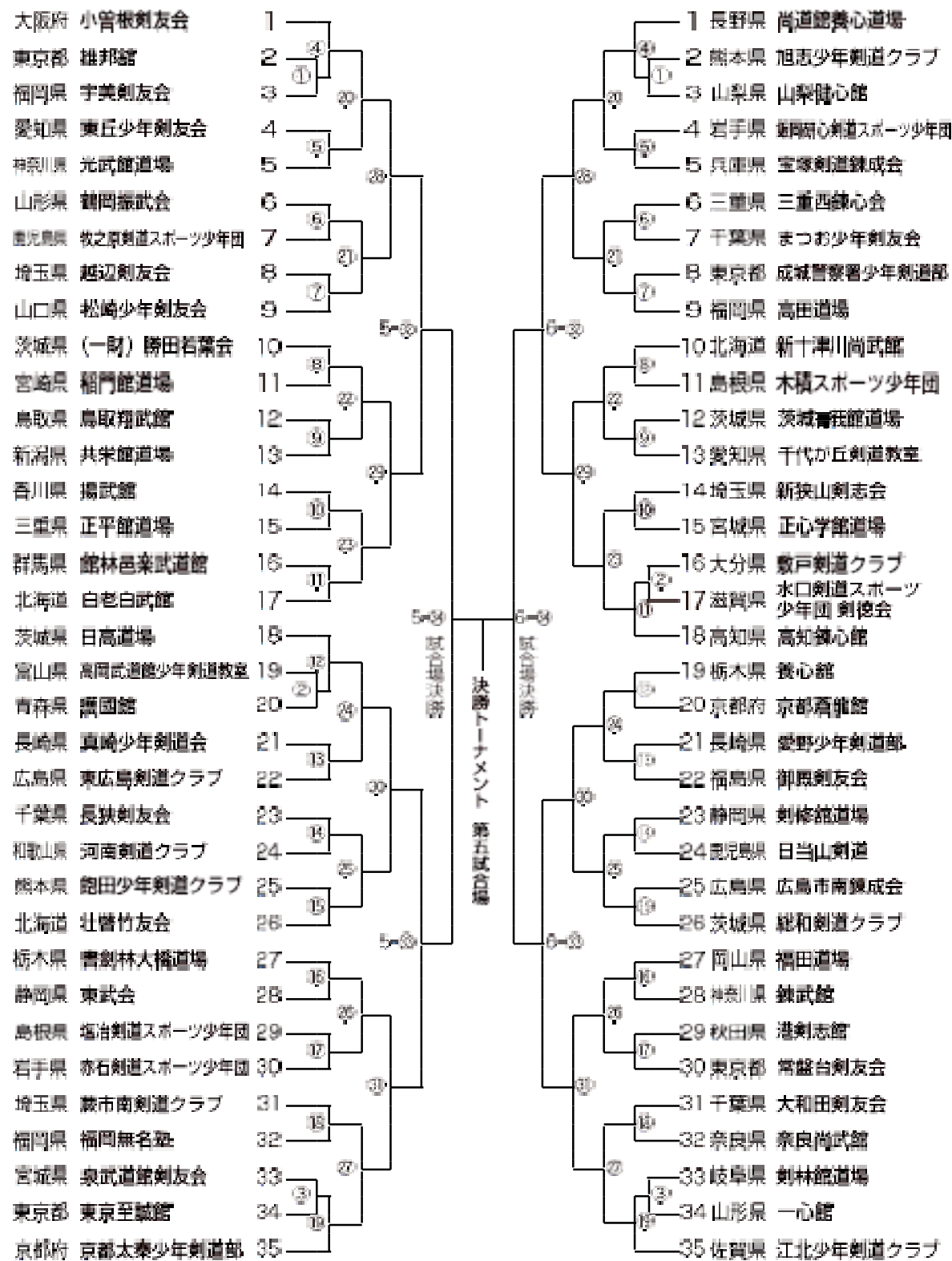
第4試合場



第5試合場

小学生の部

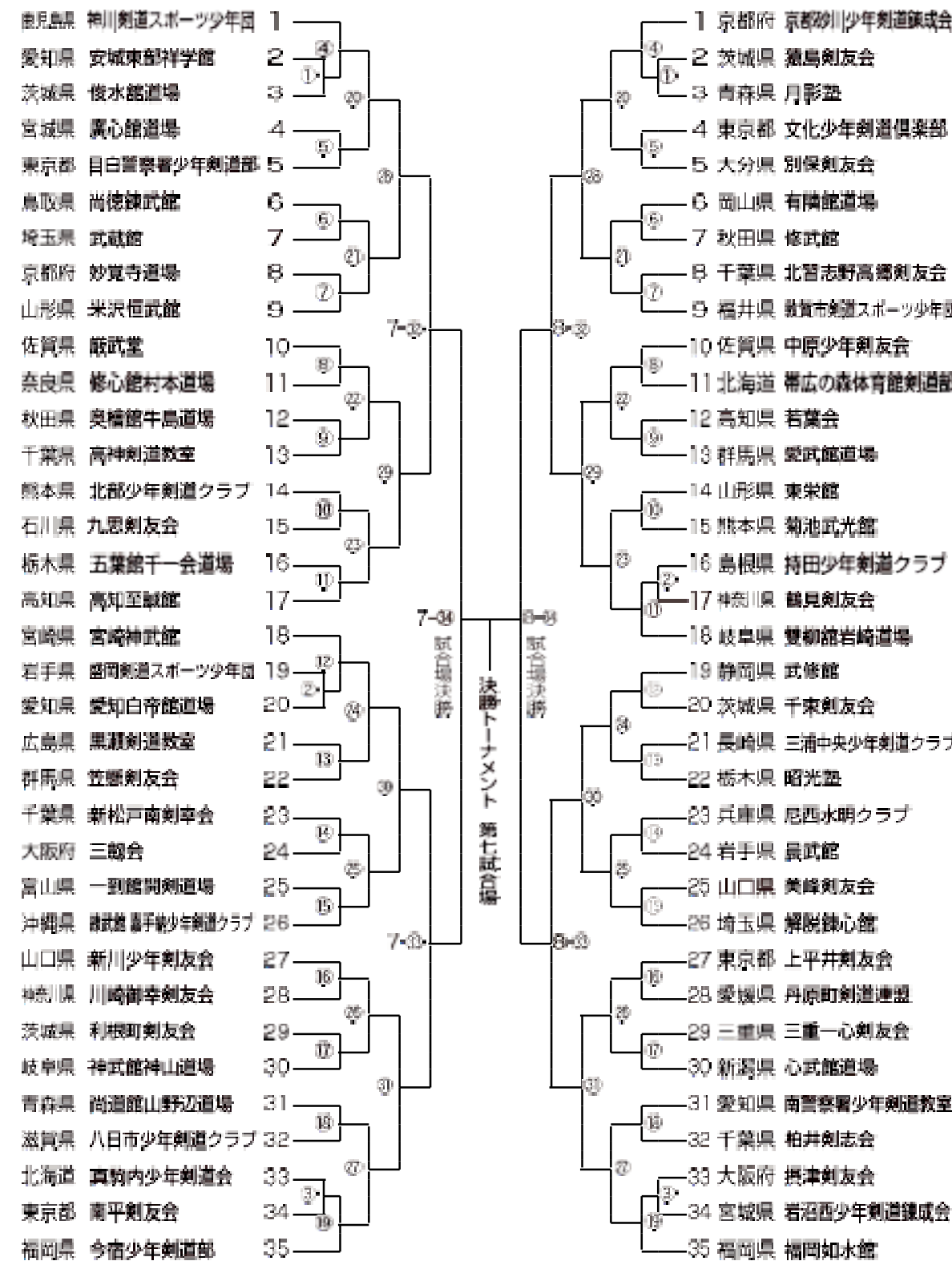
第6試合場



第7試合場

小学生の部

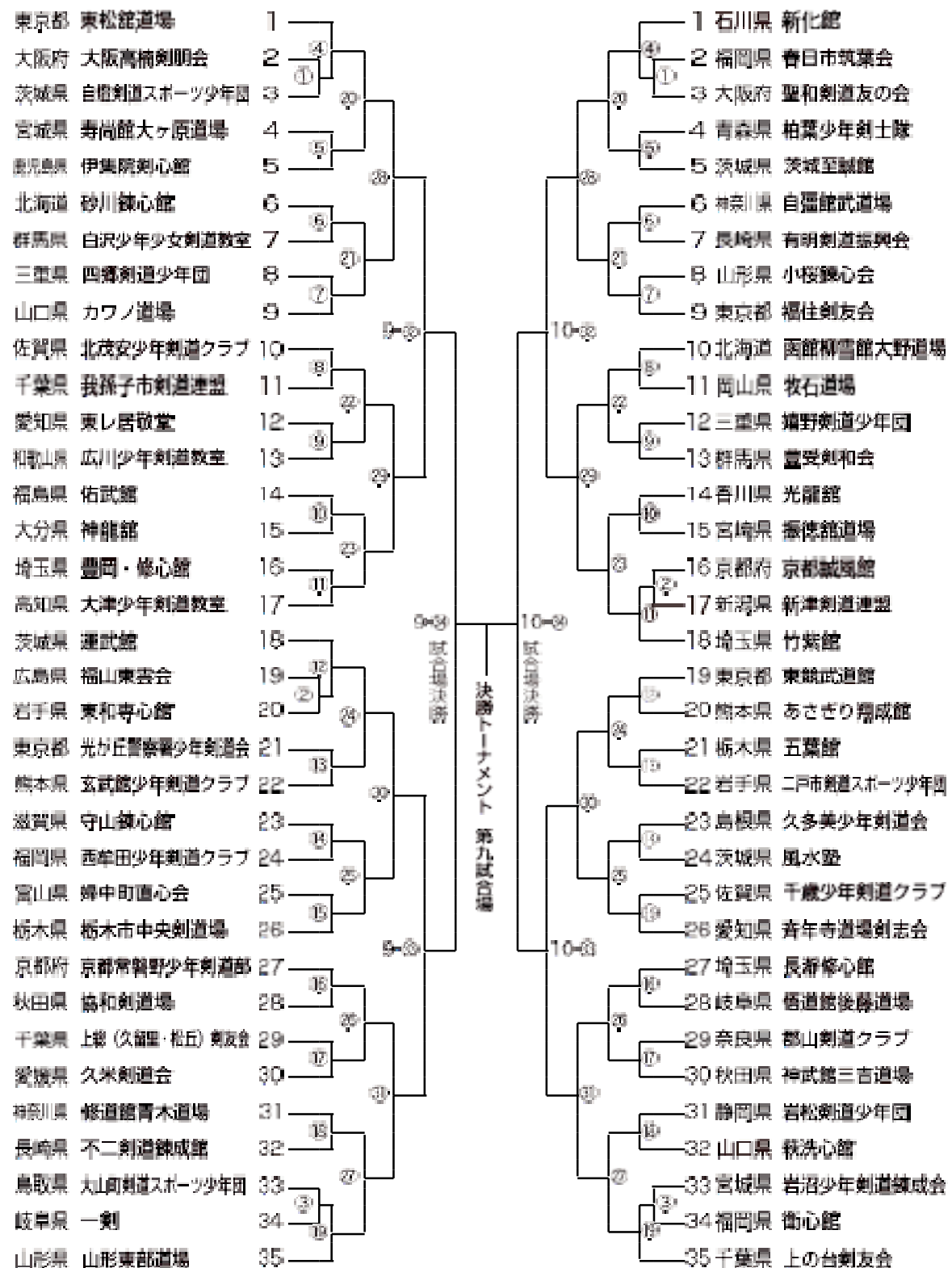
第8試合場



第9試合場

小学生の部

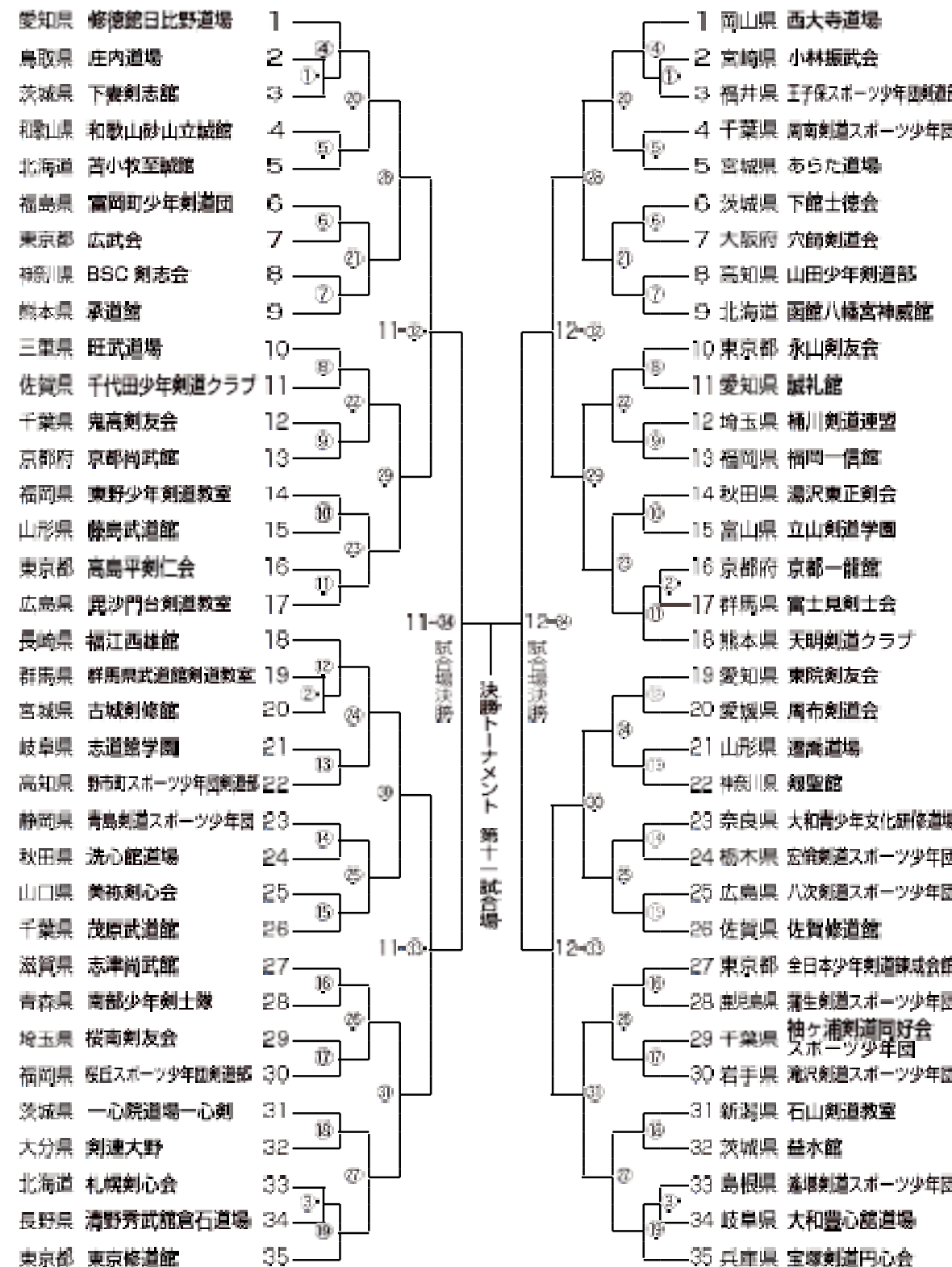
第10試合場



第11試合場

小学生の部

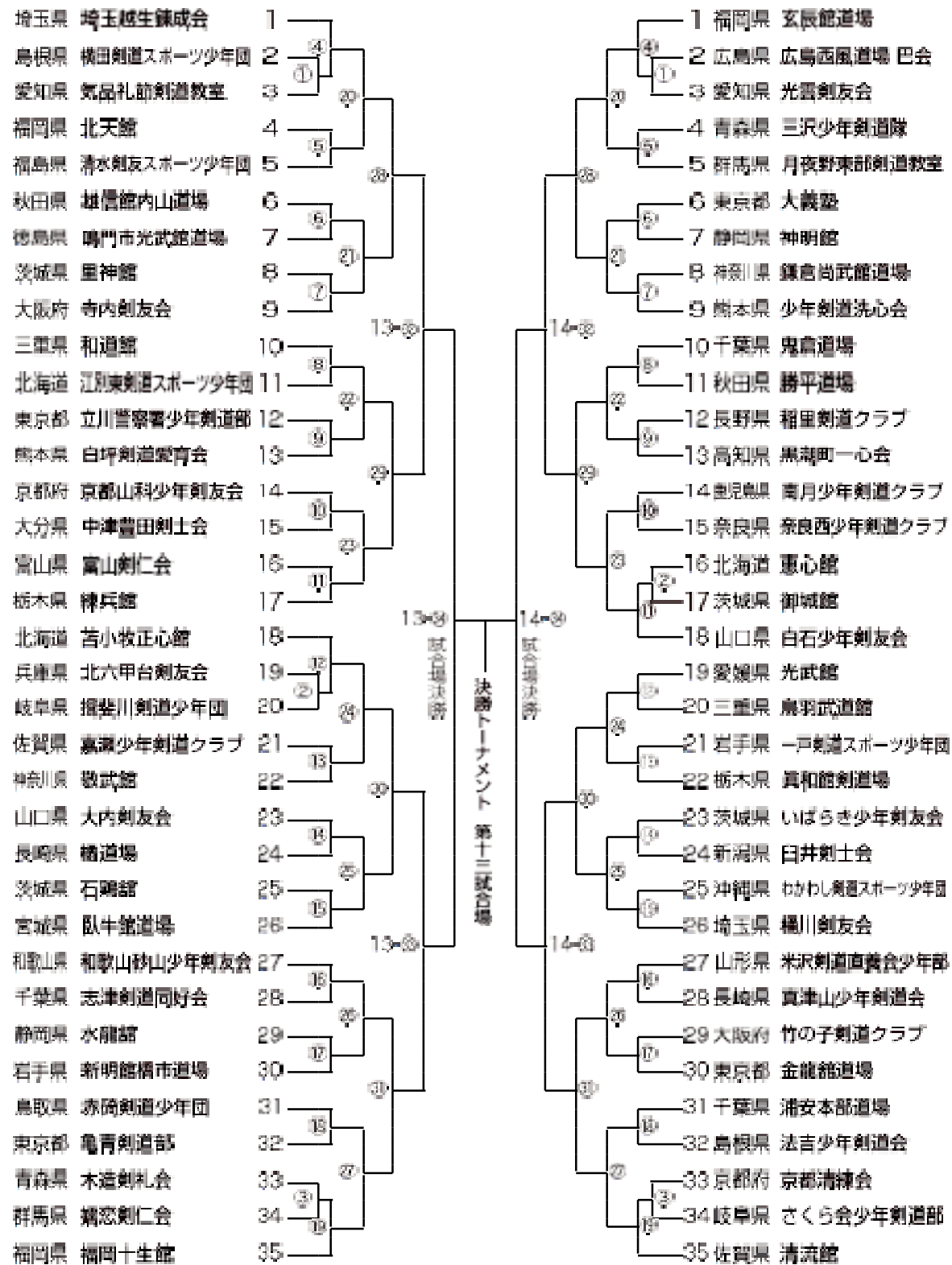
第12試合場



第13試合場

小学生の部

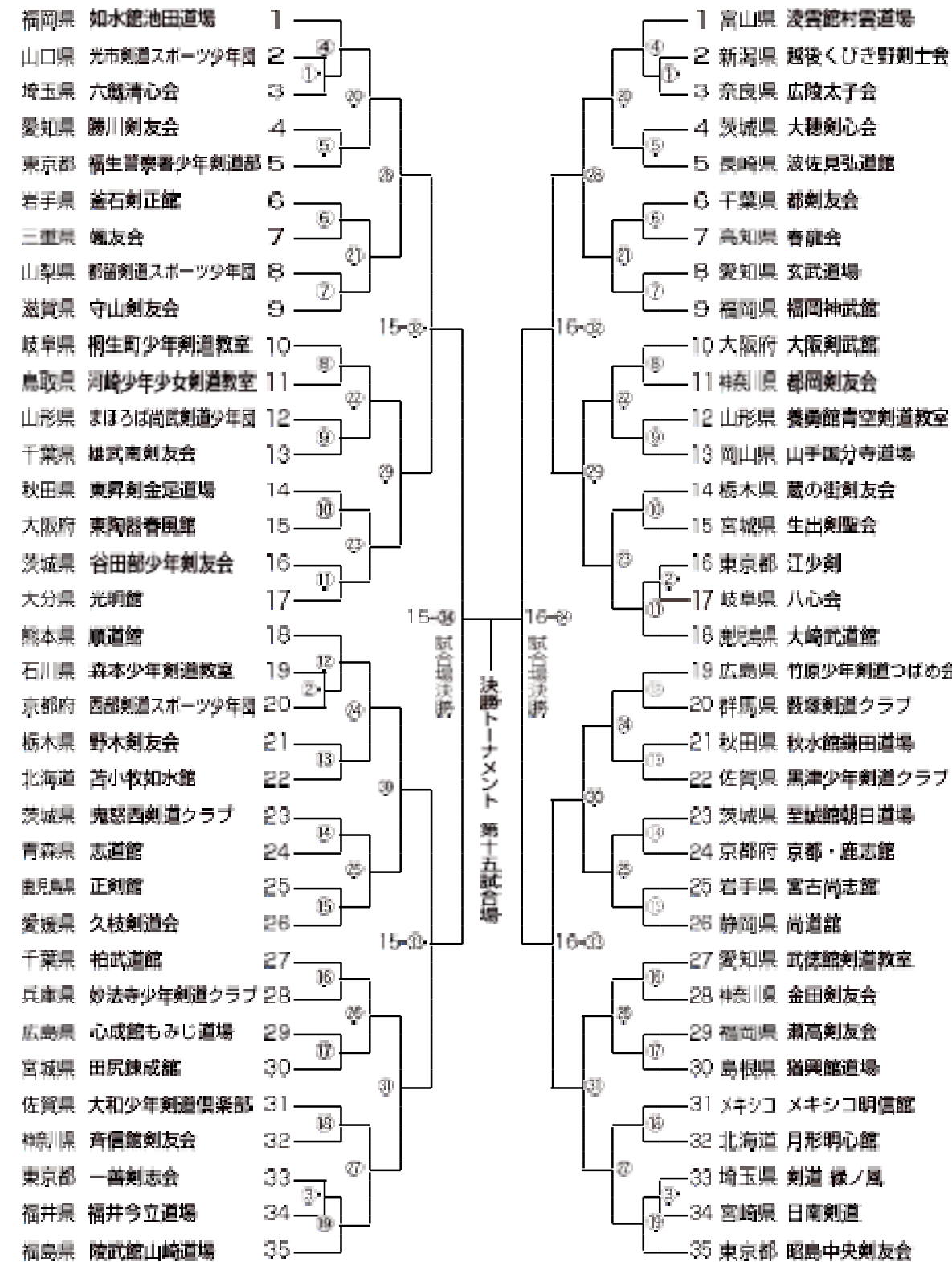
第14試合場



第15試合場

小学生の部

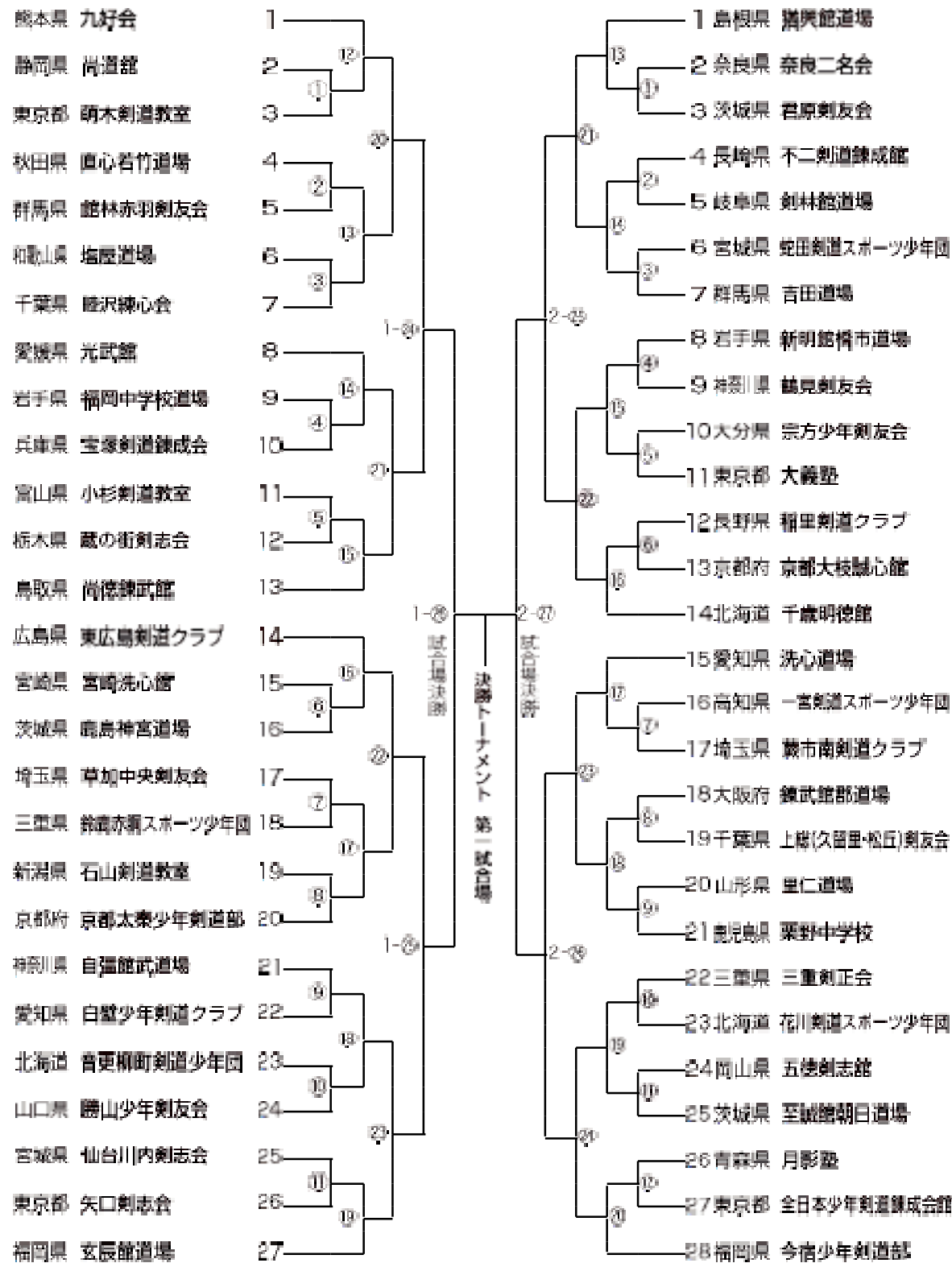
第16試合場



第1試合場

中学生の部

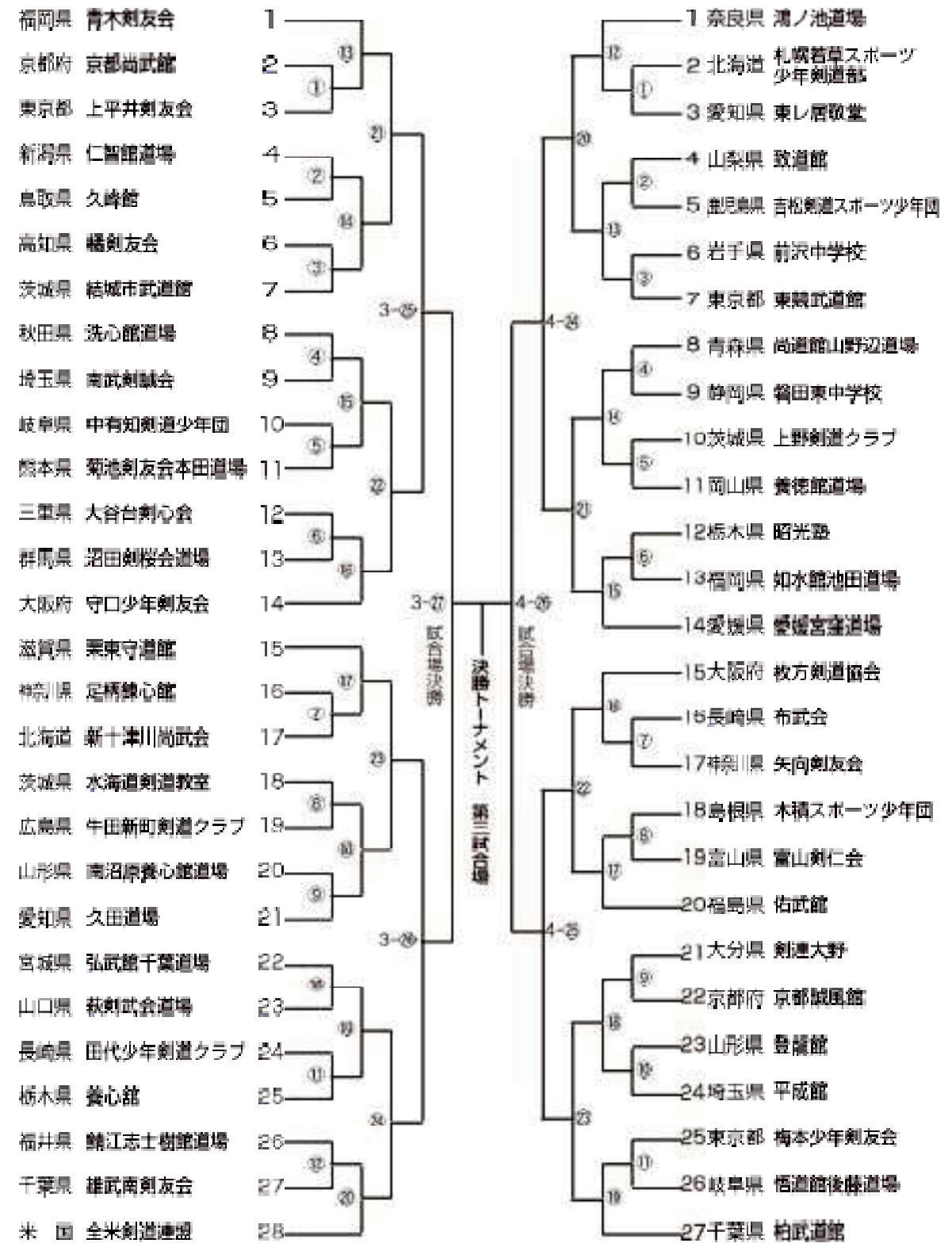
第2試合場



第3試合場

中学生の部

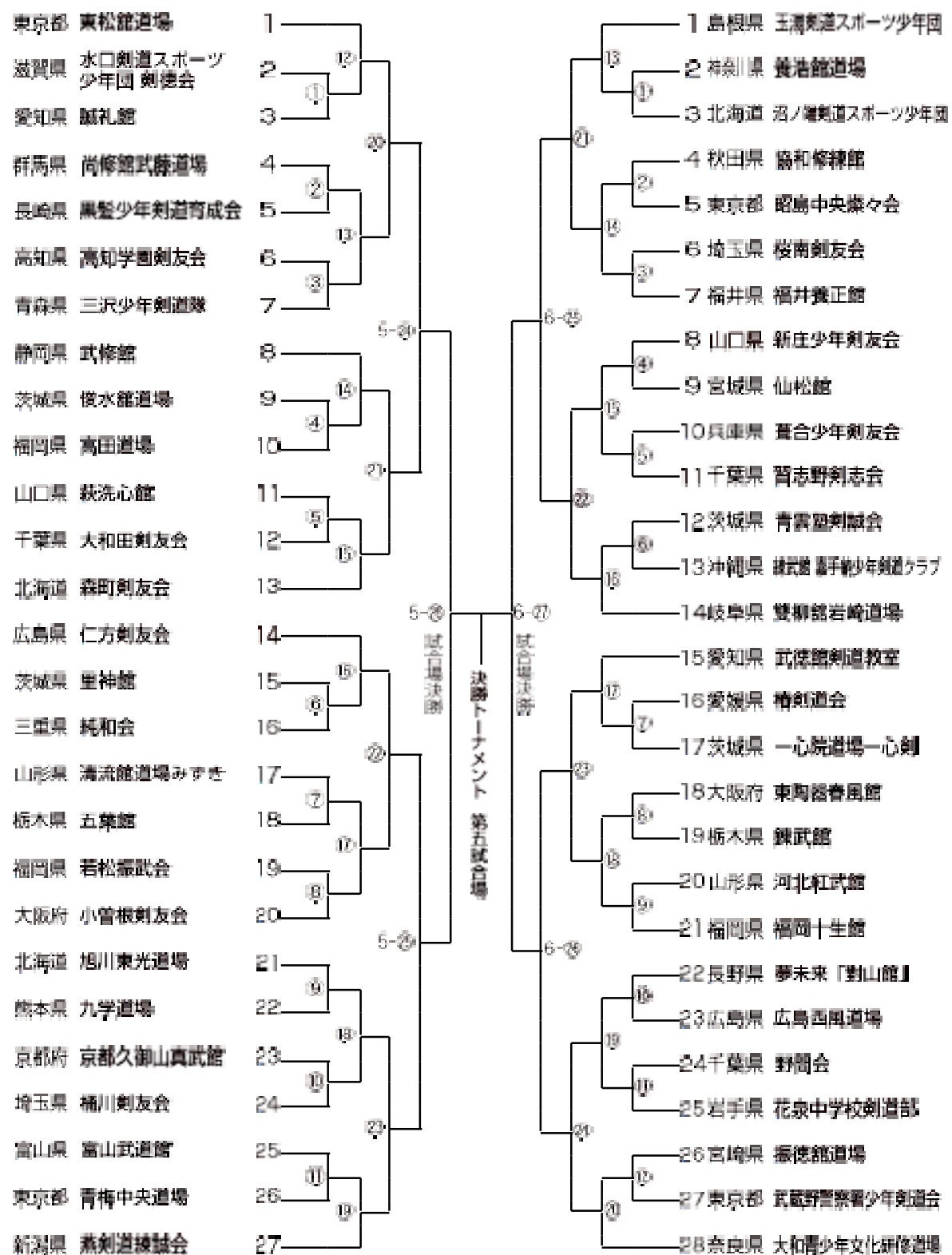
第4試合場



第5試合場

中学生の部

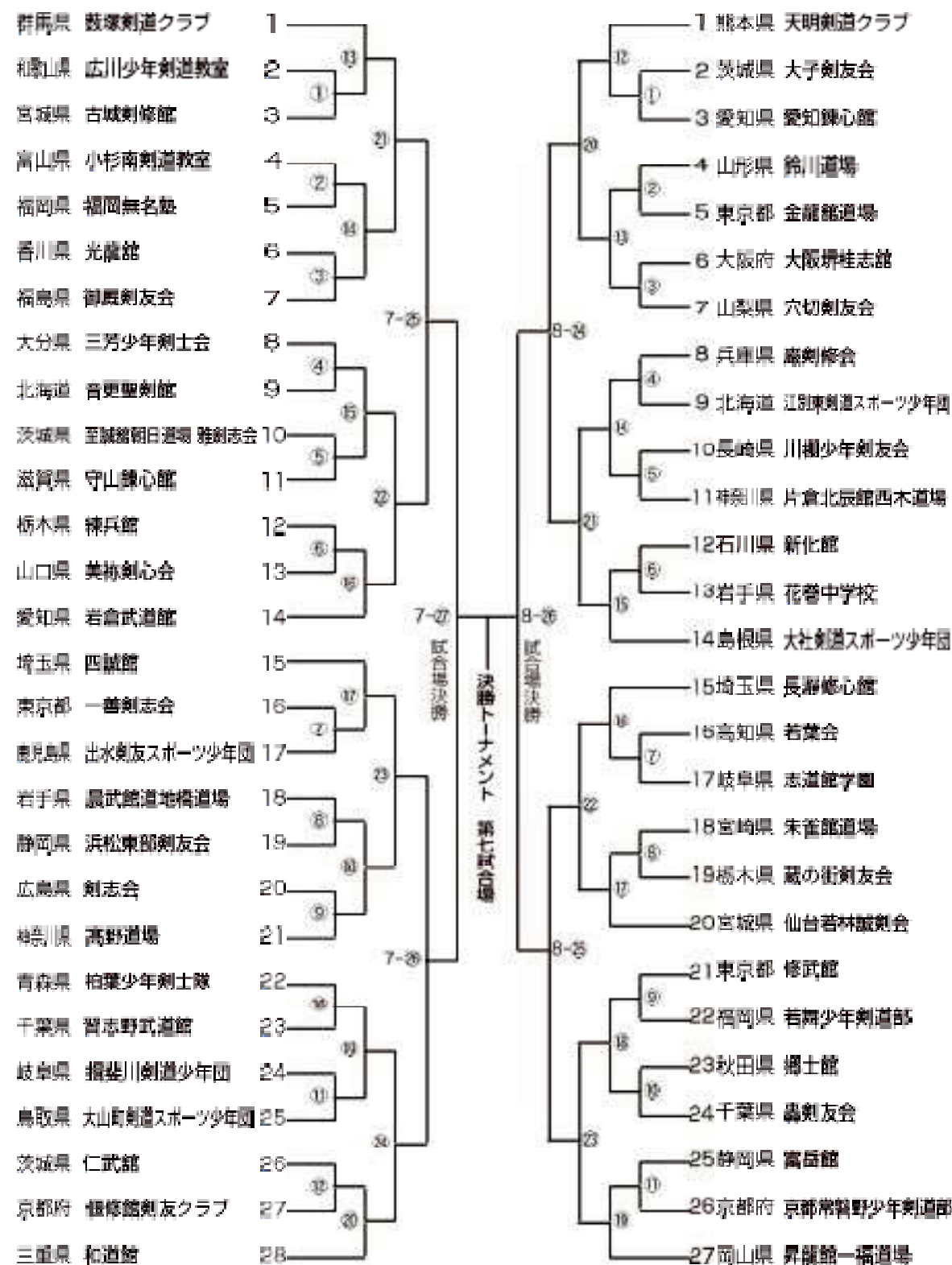
第6試合場



第7試合場

中学生の部

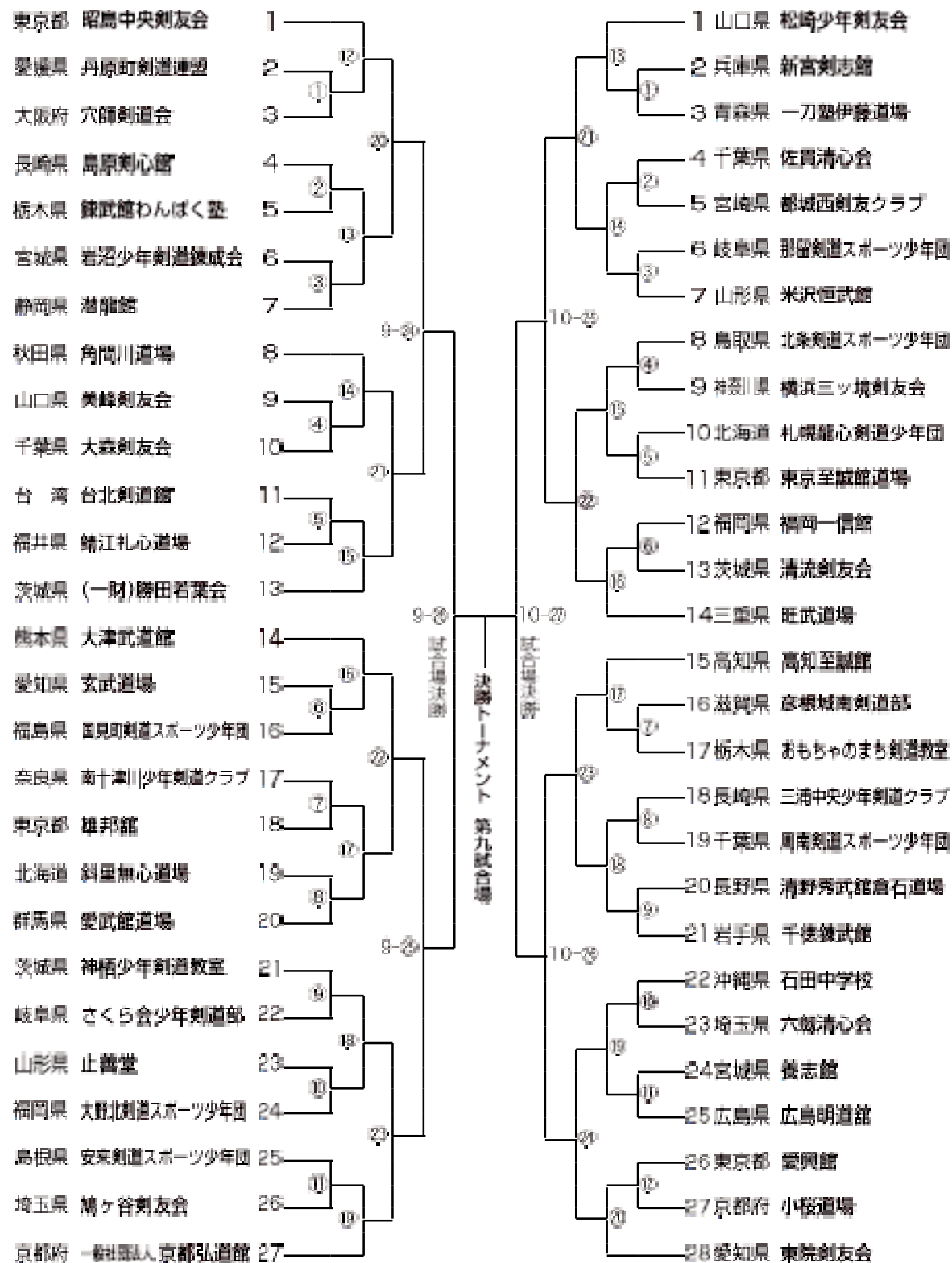
第8試合場



第9試合場

中学生の部

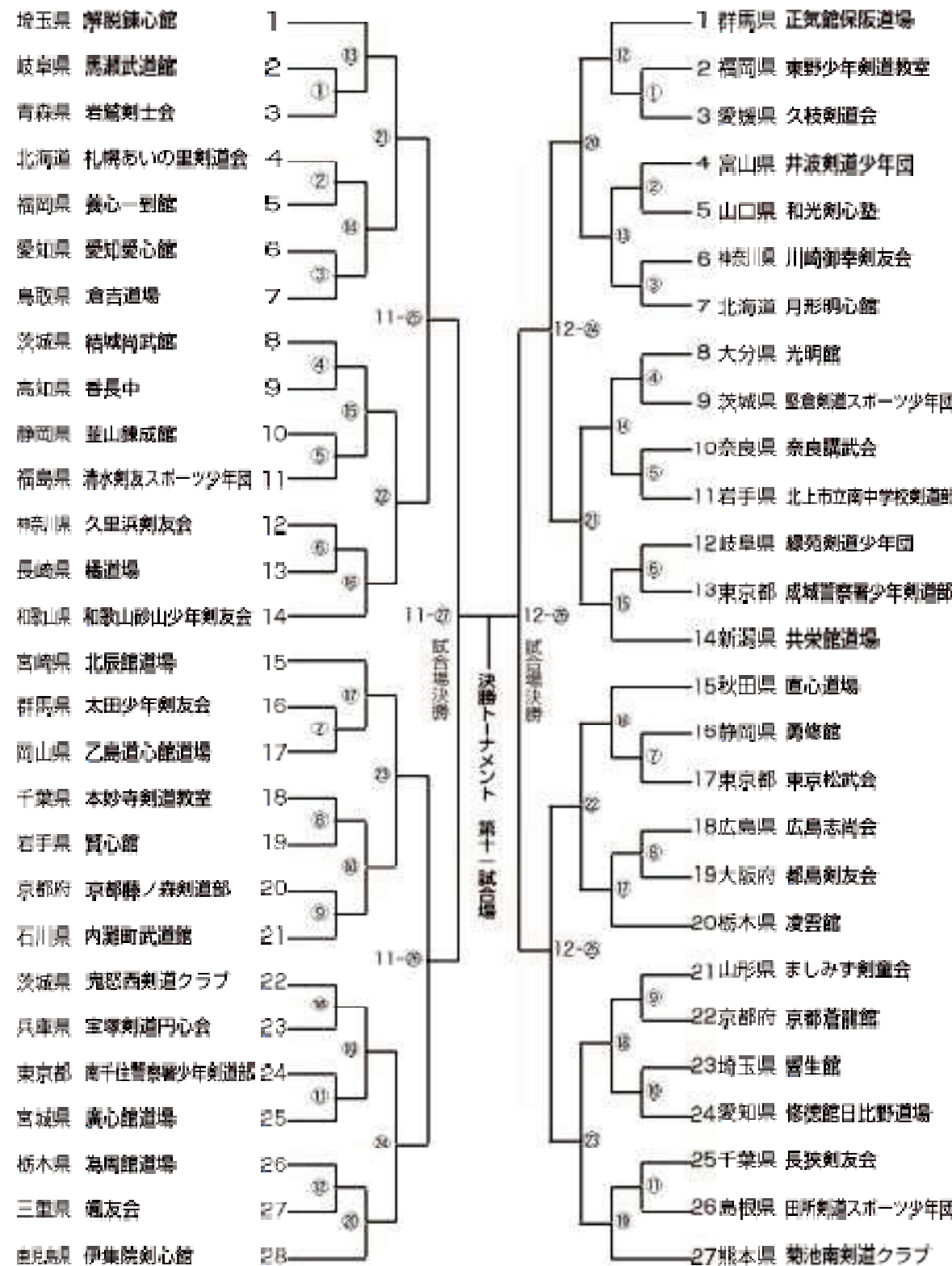
第10試合場



第11試合場

中学生の部

第12試合場







## 全国道場少年剣道大会(全日本少年剣道錬成大会)のあゆみ

第1回全日本少年剣道錬成大会(昭和41年7月31日)は、大麻勇次初代会長を始め、当時の役員一同の多大なる努力により、幾多の困難を乗り越え盛大に開催するに至りました。

大麻初代会長はご自身の剣道生命をこの大会の開催にかけられ、時の佐藤栄作総理大臣に体当たりで面談、「次代を担う少年の指導は、我が民族の生みの親、育ての親は、武道にあり、その表芸は剣道です」と陳情し、佐藤総理大臣のご理解をいただきました。本大会の開催に際して、佐藤総理より激励の祝辞を頂くと共に、力強い「魂」の揮毫を頂戴いたしました。開催に向けては幾多の苦難に直面したものの、大麻会長の斯道に対するご意志は強く、全国注目の中に正力松太郎武道館初代会長を始め、当時全日本剣道連盟会長であった木村篤太郎先生方のご臨席のもと、国民体力づくり事業協議会、日本武道館と三者共催にて開催されました。

記念すべき第1回大会、少年剣士の範たらんと持田盛二範士十段、大麻勇次範士十段の堂々の入場は誠に壮観であり、他 鈴々たる先生方を迎えての機軸試合、大麻範士十段に対して小川政之範士九段、紫垣正弘範士八段、小沢武水戸東武館館長、小笠原三郎範士八段、佐々木安夫教士八段のかかり稽古と切り返しの機軸演武等が示され、少年少女剣士育成の志のもと、かくして全日本少年剣道錬成大会は盛会にして意義高く誕生いたしました。

年度	団体戦	個人戦	会長	出来事
昭和41年	第1回		大麻 勇次	第1回全日本少年剣道錬成大会の開催。主催：日本武道館、全日本剣道道場連盟、国民体力づくり事業協議会
昭和45年	第5回		大麻 勇次	全日本少年武道錬成大会 剣道之部 全日本少年剣道錬成大会(主催：日本武道館、主管：全日本剣道道場連盟)として開催。(第5回から第9回まで)ハワイ選手が初参加し、日米紅白対抗試合の公開演武が行われた
昭和50年	第10回		小沢 丘	日本武道館、全日本剣道連盟共催で行われた
昭和51年	第11回	第1回	小沢 丘	カナダ、ブラジル、ハワイ、アメリカ、フランス、スイス、イタリヤ、スウェーデン、韓国、台湾、シンガポールの参加により国際剣道大会を開催
昭和52年	第12回	第2回	小沢 丘	本大会より、当連盟の主催大会となる。高松宮内殿下のご臨席を賜る。海外14カ国から選手が参加。この年より二日間の開催となる
昭和53年	第13回	第3回	小沢 丘	この年より、決勝トーナメントを行う。「真実」日本一を決める大会となった
昭和55年	第15回	第5回	小沢 丘	剣道界の代表的範士の先生方および全日本剣道選手権大会の第1回から第27回までの優勝者、警視庁剣道を元立ちに迎え、基本錬成が行われた。
昭和56年	第16回	第6回	小沢 丘	アメリカより日系二世、三世の少年剣士が特別参加
昭和60年	第20回	第10回	小沢 丘	全国大会20回を記念し、文部大臣より剣道道場普及発展に貢献した道場主40名に対し、感謝状が贈られた。また、連続20回、大会に出場した道場には記念品を添え表彰した。基本錬成では八段以上の高段者約60名による少年剣士指導が行われた
昭和62年	第22回	第12回	小沢 丘	中学生の部に外国混成チーム(カナダ、アメリカ、西ドイツ、フランス)が参加、小学生の部に香港東信館道場が特別参加
昭和63年	第23回	第13回	小沢 丘	外国混成チーム、香港チームの特別参加
平成元年	第24回	第14回	松本 光	香港、ハワイチームが三回戦進出(これまで海外チームは一、二回戦敗退であった)

## 全国道場少年剣道大会(全日本少年剣道錬成大会)のあゆみ

年度	団体戦	個人戦	会長	出来事
平成2年	第25回	第15回	松本 光	25周年を記念し、文部大臣から剣道道場の普及発展に貢献した道場主45名に感謝状が贈られた。またこの年より優勝者に海外派遣の切符が贈られることとなり、小学生の部 香月(鹿児島)、中学生の部 練兵館(橋本)が優勝、台湾に向かった
平成3年	第26回	第16回	松本 光	練兵館、中学生の部 5連覇達成
平成7年	第30回	第20回	松本 光	開催30回を記念し、秋篠宮殿下、同妃殿下のご臨席を賜り、与謝野馨文部大臣他多数の来賓を迎える。大会30回出場(10団体)、これまで貢献のあった団体企業(25団体)を表彰。剣道普及にあられた道場士に対し、文部大臣感謝状が贈られた。文部大臣杯下付。練兵館中学生の部3連覇、小・中同時優勝
平成8年	第31回	第21回	松本 光	橋本龍太郎総理大臣を来賓を迎える。総理自ら剣道具をつけ、昨年小学生の部優勝の橋本島練兵館の剣士に指導稽古を行った。以後、数年に及びこの指導稽古が続く
平成9年	第32回	第22回	松本 光	中学生個人の部 茨城県いばらき少年剣友会 両谷武蔵選手、大会初の個人戦連覇
平成11年	第34回	第24回	松本 光	中学生個人の部 岡山県福田道場 藤見健太選手が連覇
平成13年	第36回	第26回	松本 光	練兵館中学生団体の部連覇、通算10回目の優勝
平成17年	第40回	第30回	松本 龍太郎	第40回を記念し三日間に渡り開催。大会二日目、第30回全日本選抜少年個人錬成大会と共に、各道場から1名ずつ代表選手が出場する第40回記念全日本少年個人錬成大会が行われた
平成19年	第42回	第32回	代行中村精治	日タイ修好120周年にともない、タイ・ブーケットより小・中学生が参加
平成20年	第43回	第33回	小坂 憲次	寛仁親王殿下第二女子、瑠子女王殿下のご臨席を賜る(以来、現在まで毎年ご臨席を賜っている)。ブラジルより剣士を招待
平成25年	第48回		小坂 憲次	全国道場少年剣道大会へ名称変更、個人戦、道場対抗同時開催へ移行。中学団体の部東松道場3連覇、小・中同時優勝
平成27年	第50回		小坂 憲次	第50回記念大会とし三日間に亘り開催。小・中学生団体の部と共に、二日目に小中学生、男女計4部門の個人戦(会員各道場2名以内の自由参加)を行い計3614名が集った。初日開会式には瑠子女王殿下、下村博文文部科学大臣(当時)のご臨席を仰ぎ、連続50回出場5団体を表彰、少年剣道普及貢献道場、および貢献団体に感謝状を贈った。二日目開会式には再度瑠子女王殿下のご臨席を賜り、高市早苗総務大臣もお越し頂き盛大に執り行われた
平成28年	第51回		小坂 憲次	全米剣道連盟選出による中学生代表チームを招聘、その他、台湾からの参加を得て開催。小学生の部で昭島中央剣友会が、中学生の部で東松館道場がそれぞれ連覇を果たした
平成29年	第52回		下村 博文	サイパン、米国チームが出場。小学生の部で洗心道場が初優勝。中学生の部は九好会が4度目の優勝